

# 文法を自然に使うって発信できる 場面・状況設定

各課の例文や文法問題はすべてトピックの内容に関連。学習した文法を無理なく活動につなげられる仕組みで、スムーズに授業を進めていただけます。

## 各レッスンの文法項目とトピックリスト

5つのZoneで身近なことから社会・文化的トピックへ展開

- 1st Zone >>> 自分のことや身近な人のことを話す
- 2nd Zone >>> 日々の生活について話す
- 3rd Zone >>> したいことやしていることを話す
- 4th Zone >>> 説明する・自分の考えを話す
- 5th Zone >>> 異なることやコミュニケーションについて話す

ZONE	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間
	<b>Introduction</b>		5文型と品詞		1
1	1	現在形	自分のこと	Meeting People	2
	2	過去形	休日・週末にしたこと	Holidays and Weekends	2
	3	未来の表現	予定	Making Plans	2
	4	現在完了形	経験	Experiences	2
	5	過去完了形	学習・課外活動	Study and Activities	2
	<b>Logical Writing ①</b>		叙述文を書いてみよう! (高校入学前の出来事)		0.5
	<b>1st Zone まとめ活動</b>		スピーチをしてみよう! (高校入学前の出来事)		0.5
2	6	助動詞①	食べ物	Food	2
	7	助動詞②	学校生活	School Life	2
	8	助動詞③	日常生活	Daily Life	2
	9	受動態	交通や建物	Transportation and Buildings	2
	<b>Logical Writing ②</b>		意見文を書いてみよう! (学校に規則は必要か)		0.5
	<b>2nd Zone まとめ活動</b>		Logical Thinking 論理的に考える		0.5

1学期

3	10	不定詞①	将来したいこと	The Future	2
	11	不定詞②	健康	Staying Healthy	2
	12	不定詞③	便利な製品	Convenient Products	2
	13	動名詞	趣味・興味	Hobbies and Interests	2
	14	分詞①	自然	The World of Nature	2
	15	分詞②	トラブル・事故	Trouble and Accidents	2
	<b>Logical Writing ③</b>		説明文を書いてみよう! (絶滅危惧種の動物)		0.5
<b>3rd Zone まとめ活動</b>		プレゼンテーションをしてみよう! (絶滅危惧種の動物)		0.5	
4	16	関係代名詞①	発明・進歩	Inventions and Breakthroughs	2
	17	関係代名詞②	社会活動	Community Service	2
	18	関係副詞	行事・慣習	Events and Customs	2
	19	比較①	生活環境	Living Environment	2
	20	比較②	社会問題	Social Problems	2
	<b>Logical Writing ④</b>		問題解決文を書いてみよう! (日本の労働者不足)		0.5
	<b>4th Zone まとめ活動</b>		ディスカッションをしてみよう! (都会の暮らしと地方の暮らし)		1
5	21	仮定法	願い事	Making a Wish	2
	22	接続詞	異文化を理解する	Cross-cultural Communication	2
	23	that節	ことばとコミュニケーション	Languages and Communication	2
	<b>Logical Writing ⑤</b>		説得文を書いてみよう! (英語の世界公用語化)		0.5
	<b>5th Zone まとめ活動</b>		ディベートをしてみよう! (英語の世界公用語化)		2
					<b>計</b>

2学期

3学期

文法主軸／活動主軸，または文法と活動を組み合わせるなど，多様な授業展開が可能です。

ターゲットの文法項目が実際にどのように使われるのか，モデル会話で確認できます。

### 授業2コマ／1レッスンのペースを想定した場合

	文法&活動 バランス型	文法主軸	活動主軸
<b>導入</b> (1ページ目) モデル会話	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK ↓ 発音解説	モデル会話を聞く ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK ↓ 発音解説
<b>定着</b> (2-3ページ目) 文法解説 例文, F-GUIDE 確認問題 CHECK 言語活動 TASK	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 文法演習 ▶教科書 CHECK ↓ 言語活動 ▶教科書 TASK ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook  授業では，教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い，宿題の準拠教材で補強する	基本例文確認 ↓ 文法解説 ▶ 文法参考書 ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 文法演習 ▶ 教科書 CHECK ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook  余裕があれば活動 ▶ 教科書 A TASK 活動はメインのAのみ	基本例文確認 ↓ 文法演習 ▶ 教科書 CHECK ↓ 言語活動 ▶ 教科書 TASK ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook  文法解説・演習は準拠教材に任せ，言語活動に時間を割く
<b>発展</b> (4ページ目) 話す活動 SHARE 書く活動 WRITE	話す活動を行う ▶ 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 WRITE	話す活動を行う ▶ 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 WRITE パラグラフライティング	話す活動を行う ▶ 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ③グループで共有 ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 WRITE パラグラフライティング

**LESSON 1 Meeting People**  
自分のことを話す

**Start-Up** Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?  
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer every day except Monday.**  
Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?  
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.  
Andy: Wow! You don't have much free time.  
Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends.

**Listening-TASK** True or False? 1. T/F 2. T/F 3. T/F

**Tips for Better Communication** 相手からの問いかけに答えたら，関連する情報を1つ加えましょう。新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ，会話が続きます。

**Forms** 現在のことは現在形で表す  
住んでいるところや持っているもの，入っている部活のような**現在の状態**や，日々の暮らしの中で繰り返していることを表すときは，**動詞の現在形**を使います。  
動詞の現在形が表すのは「今」という時点だけでなく，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。したがって，playのような動きを表す動詞の**現在形は，繰り返すようなことを表します**。I play soccer.だけで，「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

**Expressions** あいづちで関心を示す  
あいづちを打つことで，相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really!**は，下がり口調なら「そうなんだ!」，**Really?**と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときはI see. や I understand. を，いい話だと思えばThat's nice. を，よくない話なら That's too bad. のような表現を使います。

**Sounds** /l/と/r/の発音  
/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつげず舌全体をうしろに引いて発音します。  
like, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very  
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

**Talk**  
会話の内容を確認し，AndyとKentaになりきって会話をしてみよう!

**Pick-Up** 入っている部活動は，I'm in the soccer club. のように言えば簡単です。I belong to .... (私は...に所属している)だと少ししたい表現になります。運動部なら，I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

**TT** Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

**各レッスンでトピックを設定**

- モデル会話
- 基本例文
- 文法確認
- 活動
- 語彙

↑  
トピックで統一

**リスニング問題例**

**True or False?**

- Kenta plays soccer on Tuesdays.
- Kenta doesn't go to cram school.
- Kenta likes to spend time with his friends when he isn't too busy.

**授業の流れ**

- Start-Upで文法が使われる状況・場面を確認。
- Listening-Taskで会話の内容確認。
- FormsやExpressionsで，文法や表現への理解を深める。

特色 ①  
特色 ②  
特色 ③

# LESSON 1 Interactions(定着)

文法と活動をバランスよく授業で扱うことができる構成です。文法学習→確認(CHECK)が終わったら、「学んだことをその場で使ってみる」活動(TASK)を通して文法の定着を図ります。

Input

### 文法の確認

- 1 7つの基本例文
- 2 簡潔な文法解説 (F-GUIDE)
- 3 文法確認(CHECK)

Output

### 文法の定着

- 4 コンパクトな活動 (TASK) で「学んだらすぐに使ってみる」

文法を自然に使える場面・状況設定

TASKをサポート

## Interactions Talking about Yourself or People Close to You

### A 現在のことを表す

現在形

- 1 I **have** a cat and **love** him so much.
- 2 I **usually get** to school at 8:30.
- 3 My mother **teaches** biology at a high school.

### 2 F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。

- 1 「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
- 2 繰り返すことや習慣になっていることを表すとき。usuallyのような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- 3 職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.)。

### 3 CHECK [ ] から選んだ動詞を適切な形にして空所を埋めよう。

1. My father ( ) cars and ( ) for a car company.
2. He ( ) a car, but he rarely ( ) it.
3. He usually ( ) home at seven and ( ) home before dinner.
4. He always ( ) of us and ( ) care of us.  
[ like / take / work / leave / think / come / have / drive ]

### 4 TASK1 CHECK の文を参考にして、自分の家族や親戚、友人を紹介する文を書いてみよう。

CHECKが  
TASKの解答例

### TASK2 ペアになって TASK1 で自分が書いたことを話してみよう。話が終わったら、ペアの相手は内容に関する質問をしたり、E-GUIDE の表現を使ったりしながら会話を続けてみよう。相手が話したことに関連する質問 (Follow-up questions) もしてみよう。

- 例 A: What does your father do at work?  
B: He designs cars.  
A: Wow, that's great! What kind of cars does he design?  
B: He designs ...

### E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいつちで表現しよう。

- ・ I see. ・ I understand. ・ I think so, too. ・ I can't believe it! ・ Really? ・ No way! ・ Yes, indeed.
- ・ That's nice [good/great/wonderful/fantastic]. ・ That's too bad. ・ Is that true?
- ・ You're kidding! ・ Are you serious?

### 音声聞いて、その応答としてふさわしいものをABCから1つ選ぼう。

## Vocabulary

- ・ relative
- ・ be good at
- ・ analyze data
- ・ do one's homework
- ・ childhood friend
- ・ graduate from
- ・ do club activities
- ・ watch videos online
- ・ work for [in]
- ・ come from
- ・ leave for school
- ・ play the guitar
- ・ resemble [look like]
- ・ ask one's advice
- ・ go to cram school
- ・ text friends
- ・ take a bath
- ・ brush one's teeth
- ・ have dinner
- ・ set one's hair
- ・ water the plants
- ・ midterm exam
- ・ get dressed
- ・ term [final] exam

### Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在のことを表すことができる。
- B 途中であることを表すことができる。
- C これからの予定を表すことができる。

### B 途中であることを表す

現在進行形

- 4 I'm **writing** an essay for my English class.
- 5 I think my cat **is getting** fat.

### F-GUIDE 次のような場合は現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。

- 4 現在している最中のことを表すとき。
- 5 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.) を表すとき。

### TASK 写真の状況に合うように空所を埋めてから、続きを考えて書いてみよう。



The man and woman on the right side of the picture are ( ) with each other. They are probably ( ) a break. The man is ( ) a cup of coffee. The man with gray hair is the office manager, and he is ( ) to the woman. She is ...

### C これからの予定を表す

現在進行形・現在形：予定

- 6 My grandmother **is visiting** us tomorrow.
- 7 My brother **graduates** from college this month.

### F-GUIDE 現在進行形や現在形を使って、これからのことを表すことがある。

- 6 これからしようとしている個人的な予定を表すときに現在進行形を使う(「いつするのか」を示す表現を入れる)。
- 7 確定している予定を表すときは現在形を使う (The express train leaves at noon.)。

### TASK ① 今日の放課後の予定か週末の予定、② 学校の行事について書いてみよう。

- 1 I'm going to a concert with my sister this Sunday. I'm really looking forward to it.
- 2 The midterm exams start on May 20, so I'm preparing for them this weekend.

### 活動(TASK)のアイコン

アイコンを大きく見やすく配置。TASK でどの活動ができるか一目瞭然。

- やり取り
- 発表
- 書く
- 協同学習

多種多様なワークシートで文法学習 (Input) も活動 (Output) も徹底サポート >>> pp.26-27

# LESSON 1 Active Learning(発展)

SHAREとWRITEで、  
各レッスンの総仕上げ  
をすることができます。

## Active Learning Introducing Yourself



### SpeakingのGoal

**SHARE** 自己紹介をしよう

#### 解答例が提示され 取り組みやすい

①で例を提示することで、無理なく少しハードルの高い活動に取り組める。①の例では各レッスンの学習文法項目を使用。

①自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I graduated from Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

②上の例を参考に、自己紹介の文を考え、メモにまとめよう。

Name	I'm _____.
Your junior high school	I graduated from _____.
Your favorite things / character	_____.
Your goals in high school	I hope _____.

③グループになって、順番に自己紹介をしよう。

- ・Hello, everyone! で始め、Thank you for listening. Do you have any questions? で締めよう。
  - ・聞き手は質問を1つしよう。
- 例 What position do you play? / Do you like any other sports?

**Self-Check** ✓  
自分のことについて伝えることができた。③②①  
相手が話したことに関する質問ができた。③②①  
③:よくできた。②:まあまあできた。①:あまりできなかった。

### WritingのGoal

**WRITE** いつもの行動を書こう

#### ステップを踏んで 取り組める

①の空所補充問題で文法事項を確認しながら、②で自由英作文を書く内容のヒントにも。

①いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[ ]から適語を選び、空所を埋めよう。

I usually ( ) up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always ( ) a traditional Japanese breakfast with my family. I ( ) home at 8:00 and get to school by 8:30. [ have / leave / get ]

②自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を、40語程度で書いてみよう。Logical Thinkingを参考にしよう。

**Self-Check** ✓  
いつもの行動について、40語程度で表現できた。③②①  
時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。③②①  
③:よくできた。②:まあまあできた。①:あまりできなかった。

## Logical Thinking

「毎朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞andを使って文をつなぐと不要な繰り返しを省けます。I wash my face and get dressed. ではandのあとにIを入れる必要はありません。

充実のワークシートで  
サポート >>> p.27

# LESSON 16 Start-Up(導入)

## LESSON 16 Inventions and Breakthroughs 発明・進歩について考える



**Start-Up** Mr. Jones is talking with Hiroki, a member of the science club, about black holes.

**Jones:** Did you know that we can now take pictures of black holes?

**Hiroki:** Yes. I read about the scientists who took the pictures. It was a great achievement.

**Jones:** That's right. To make their observations, they used eight synchronized telescopes located in several different places around the world.

**Hiroki:** It was truly an international effort.

**Jones:** Yeah! What did you think when you first saw the pictures?

**Hiroki:** Well, I was very impressed. I couldn't wait to see more pictures.



← Listening-TASK 1.T/F 2.T/F 3.T/F

**Tips for Better Communication** I read about the scientists who took the pictures.のように事実を述べたあとには、It was a great achievement.のような感想を続けることで会話が発展します。

### Forms 関係代名詞を使って名詞に説明を加える

「写真を撮影した科学者たち」と言いたいとき、英語ではthe scientistsという名詞を先に出してから、who took the picturesという説明を関係代名詞を使って加えます。  
the scientists ← who [どういう人が説明を加える] + took the pictures (写真を撮影した)  
という説明の流れです。

「科学者たち」に「私が尊敬する」という説明を加える場合は、the scientists whom I admireのように関係代名詞に(主語+動詞)を続けます。この場合の関係代名詞は省略することができます。

### Expressions 感想をたずねる

相手に感想をたずねるときは、What do you think of [about] ...? または How do you feel about ...? という表現を使います。日本語では「どう思う?」と言いますが、thinkを使うときは疑問詞はhowではなくwhatを使います。How was ...? で「...はどうだった?」と感想をたずねることもあります。

### Sounds /æ/ の発音

blackやinternationalの「ア」は/æ/の音で、日本語の「エ」の音を出すときに唇を横に広げた状態で、できるだけ口を開いて「ア」と発音します。

② action, angry, apple, that, black, fact, glad, plan, map, international

### Talk

会話の内容を確認し、Mr. JonesとHirokiになりきって会話をしてみよう!

**Pick-Up** 「読む」という意味の動詞readは、「本などを読む」と言う場合は他動詞として使います(例 read a book)が、読んだ内容について「～のことを読んで知る」と言う場合は、readのあとにaboutやofが必要です。  
例 I read about the event in the newspaper. (私はその事件(内容)について新聞で読んで知った)

TT >>> How many cans can a canner can if a canner can can cans?

QRコードからのアクセスで、簡単に音声やフラッシュカードで学習できる。

>>> p.32

学習事項を色分けで表示

### QRコード

- Start-Up
- Sounds
- 基本例文
- TASK
- E-GUIDE
- Vocabulary

Interactions Talking about Inventions and Breakthroughs

A 名詞に〈関係代名詞+動詞〉を続けて説明を加える

主格: 主語のはたらき

- ① The person **who** discovered X-rays was a German scientist.
- ② They're creating robots **that** will help people with disabilities.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は主語のはたらきをする。

- ① 人を表す名詞に説明を加えるときは関係代名詞 **who** を使い、その人が何をするのか・したのかを説明する。
- ② 人以外を表す名詞に説明を加える場合は、関係代名詞 **that** か **which** を使う (robots which will help people ... )。
- ③ 「その～は」と説明を加えるときは、所有格の関係代名詞 **whose** を使う (I have a smartphone whose screen can be folded.)。

CHECK 空所に当てはまる内容を a～d から選び、適切な関係代名詞を補って英文を完成させよう。

- 1. Marie Curie was a Polish scientist \_\_\_\_\_.
  - 2. Ando Momofuku was an inventor and businessperson \_\_\_\_\_.
  - 3. Steve Jobs created a useful device \_\_\_\_\_.
  - 4. Katalin Karikó contributed to the development of a technology \_\_\_\_\_.
- a. was used for COVID-19 vaccines    b. was famous for her research on radioactivity  
c. has changed our way of communication    d. created instant noodles

TASK 1 ペアになって、発明や偉業を成し遂げた人物をふたり選び、それぞれひとりずつについて調べて英語で書いてみよう。

TASK 2 TASK 1 で書いたことを、ペアでそれぞれ発表しよう。発表が終わったらペアの相手に、E-GUIDE の表現を使って感想を聞いて、会話を続けてみよう。

- A: I wrote about Steve Jobs. He created cool and innovative products that have enriched our daily lives. Also, he was known for his creative ideas and great leadership. What do you think of him?  
B: I think he is a person who inspired people around him to do big things.  
A: Yeah. Many people admire his passion for design and simplicity. Jobs left a lasting legacy in the world of technology and design.  
B: I agree with you.

E-GUIDE 相手に感想をたずね、会話を続けよう。

- ・What do you think of/about! ...?    ・How did you feel about ...?    ・What was your impression of ...?
- ・How was ...?    ・How did you like it?    ・Were you impressed?

音声アイコンを聞いて、その応答としてふさわしいものを ABC から 1 つ選ばう。

Vocabulary

- ・contribute to    ・prove    ・cutting-edge    ・revolution    ・scientist
- ・introduce    ・set a record    ・creative    ・discovery    ・inventor
- ・inspire    ・impress    ・imaginative    ・trial and error    ・researcher
- ・invent    ・revolutionize    ・innovative    ・chemist    ・win the Nobel Prize
- ・safe drinking-water
- ・poor sanitation
- ・play an essential role
- ・replace ~ with

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- ① A 関係代名詞+動詞で名詞に説明を加えられる。
- ② B 関係代名詞+主語+動詞で名詞に説明を加えられる。
- ③ C 関係代名詞と前置詞を使って名詞に説明を加えられる。

B 名詞に〈関係代名詞+主語+動詞〉を続けて説明を加える

目的格: 目的語のはたらき

- ③ The world record **that** he set in 2016 has not been broken yet.
- ④ Tell me about the person **whom** you admire the most.
- ⑤ The products **she invented** have helped many people around the world.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は目的語のはたらきをする。

- ③ それをどうするか・どうしたのかを説明するときは、関係代名詞 **that** か **which** を使う。
- ④ 人についての説明を加える場合は目的格 **whom** を使う。ただし、whom の代わりに who を使うことが多い。
- ⑤ 目的格の関係代名詞を使わず、名詞に直接〈主語+動詞〉を続けて説明を加えることも多い。

TASK 防災井戸 (a well pump) について書かれた英文を読んで、空所を埋めよう。また、現在、世界で井戸がどのように使われているか調べて、続きを書いてみよう。



This is a well pump ( ) we can use in times of disaster in Japan. When the water supply is broken, we can use this well pump to get clean water. There are many people ( ) we can help with a well pump in the world. ...

C 説明を加える関係代名詞節で前置詞を使う

前置詞の目的語のはたらき

- ⑥ This is the new vaccine **that** we have been waiting **for**.
- ⑦ The project **on which** they have worked for years will be completed.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は前置詞の目的語のはたらきをする。

- ⑥ 関係代名詞は前置詞 **for** の目的語のはたらきをしている (we have been waiting for the new vaccine)。関係代名詞を使わずに the new vaccine we have been waiting for とすることもできる。
- ⑦ 前置詞を関係代名詞の前に入れることもできる (on that は不可)。人を表す名詞の場合は the person for whom we have been waiting のようになる。

TASK 電気自動車についてのスピーチを読んで、空所を埋めよう。また、革新的な技術や発明を 1 つ選び、それを紹介するスピーチを書いてみよう。

[ HINTS: drones, lithium-ion batteries, iPS cells, 3D printers, AI, instant noodles ]  
The technology \_\_\_\_\_ I would like to talk is electric vehicles. Instead of gasoline, the vehicles need electricity to power them. They use the batteries \_\_\_\_\_ the electricity is stored in. Electric vehicles can help reduce CO<sub>2</sub> emissions.

音声アイコン

TASK の空所補充問題に音声をご用意。リスニング問題としても活用できる。

TASK の空所補充問題

- 空所補充問題で文法事項を確認。
- 学習文法項目を使うことが自然な、場面や状況の英文が書くヒントに。



音声



音声

機能表現の学習も充実

表現の例を使った会話のリスニング問題を 3 題ご用意。

リスニング問題例

1. How did you feel about that electric car?

- A: I feel great about the offer.
- B: Sure, I'd like to drive it.
- C: Well, the engine was very quiet.



フラッシュカード音声・和訳付

# LESSON 16 Active Learning (発展)

## 各Zoneの構成

本課で学習したこと、活動した内容が、Zone末のまとめの活動で活用できる構成になっています。

### Active Learning Technology and Invention

#### SHARE 発明品について話そう

##### ① 発明品に関する次の文を読もう。

Dynamite was the most famous thing that Alfred Nobel invented. However, the power of dynamite was not used only for constructive purposes but also in wars. Nobel became very rich thanks to the invention of dynamite, but he was unhappy that his invention was being used as a weapon. In his will, he provided money for the Nobel Prize awards.

##### ② 上の例を参考に、発明品について自由に調べて、紹介したい内容をメモにまとめよう。

発明品の具体的な情報に加えて、その発明の利点や問題点も入れよう。

Invention:	
Description	
Benefits / Problems	

##### ③ グループになって、順番に発表しよう。

#### Self-Check

発明品について具体的に伝えることができた。☑☑☑  
発明品の利点や問題点について伝えることができた。☑☑☑

#### WRITE 発明品を自由に考えよう

##### ① ある生徒が考えた発明品について述べた文を読んで、空所を埋めよう。

I've developed an innovative application, "Animal Translator." This is an app ( ) enables you to understand animal languages. Choose the animal ( ) you want to communicate with and record its voice, and then press the app's start button. Then, the message ( ) the animal is trying to say will be shown in human language on the screen! It's both fun and practical!

##### ② 発明品を自由に考えて、その発明品で何ができるかを60語程度で説明してみよう。

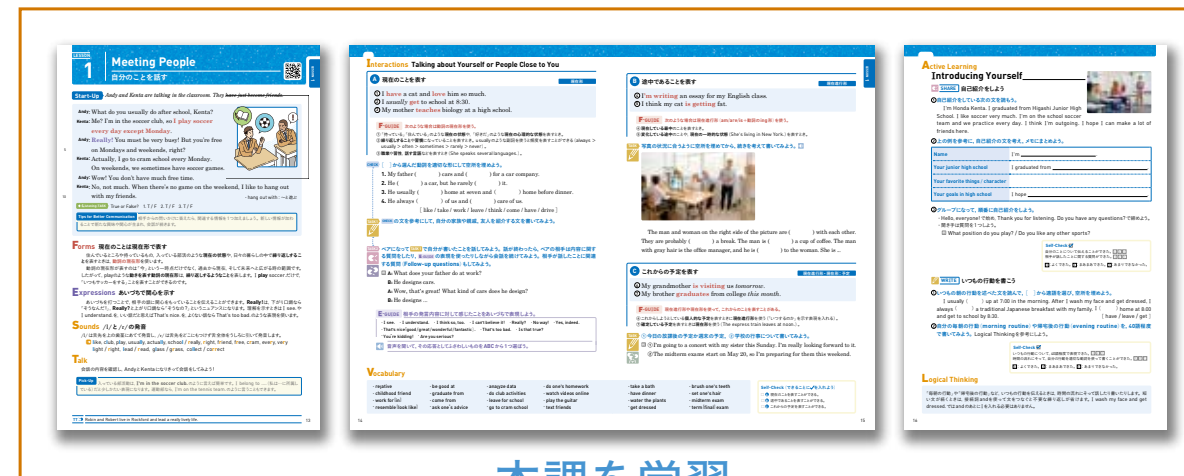
与えられたトピックにどう取り組むかを、具体的にアドバイス。

#### Self-Check

自分が考えた発明品について、60語程度で伝えることができた。☑☑☑  
発明品で何ができるかを具体的に説明できた。☑☑☑

### Logical Thinking

技術や発明などを紹介するときは、まず紹介する技術や発明の概要を簡単に述べます。そして、その技術や発明がどのようなことを可能にするのかを説明します。具体的な状況など、活用例を加えてもよいでしょう。最後に、その発明が私たちの生活にどのような影響を与えるかを述べると、聞き手の関心を高めることができます。



### 本課を学習

### Zone末の活動へ

各Zone末に、Logical Writing (書く活動) (pp.16-17) とまとめの活動 (やり取り・話す活動) (pp.18-19) をセットで配置。各レッスンのトピックと関連しているので (pp.4-5), 本課でのコンパクトな活動からハードルの高い活動へ、スムーズに移行できます。

1st Zone	Logical Writing ①	叙述文を書いてみよう! (高校入学前の出来事)
	1st Zoneまとめの活動	スピーチをしてみよう! (高校入学前の出来事)
2nd Zone	Logical Writing ②	意見文を書いてみよう! (学校に規則は必要か)
	2nd Zoneまとめの活動	Logical Thinking 論理的に考える
3rd Zone	Logical Writing ③	説明文を書いてみよう! (絶滅危惧種の動物)
	3rd Zoneまとめの活動	プレゼンテーションをしてみよう! (絶滅危惧種の動物)
4th Zone	Logical Writing ④	問題解決文を書いてみよう (日本の労働者不足)
	4th Zoneまとめの活動	ディスカッションをしてみよう! (都会の暮らしと地方の暮らし)
5th Zone	Logical Writing ⑤	説得文を書いてみよう! (英語の世界公用語化)
	5th Zoneまとめの活動	ディベートをしてみよう! (英語の世界公用語化)

# 1st Zone Logical Writing (Zone 末活動①)

論理的な文章のスタイル(叙述文・意見文・説明文・問題解決文・説得文)を、ステップを踏んで学習することができます。

特色①  
特色②  
特色③

Zone内の各活動がトピックと連動  
本課の学習や活動が生かせる。

本課内のTASK  
Zone末活動①  
Logical WritingのTASK  
Zone末活動②  
スピーチのTASK  
» pp.18-19

Zone内でTASKのトピックが連動。

## Logical Writing ①



### 叙述文を書いてみよう!

#### 叙述文とは

自分が体験した出来事などについて、順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと、旅行で体験したこと、部活動で経験したことなど、思い出に残っていることを文章にします。

1st Zoneでは、自分のことを述べたり、楽しかった出来事について述べたり、休日のことや旅行のこと、学習や課外活動について述べている活動をしてきました。このLogical Writing ①では、1st Zoneのライティング活動のまとめとして、100~130語の叙述文(a narrative paragraph)を書いてみることにします。

**TASK** 思い出に残っている高校入学前の出来事について、100~130語のパラグラフを書こう。

#### 叙述文の書き方

叙述文では、出来事を時間軸にそって順を追って述べていきます。まず、導入としてどんな出来事なのかを示してから出来事の内容を具体的に述べ、最後に感想などでまとめる、というのが叙述文の一般的なスタイルです。

- 導入** どんな出来事について述べるのかを示す(いつ、どこで、だれが、何をしたのか)
- 内容** 出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べる
- 感想** 出来事に関する感想や学んだことなどを述べる

まず、次のパラグラフを読んでみましょう。

#### My First Day in Seattle

When I first went abroad, I was fourteen years old. I wanted to improve my English, so I decided to take part in an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. The journey took about fourteen hours. When we arrived at the school, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. Then, after a couple of hours, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me.

(128 words)

#### 叙述文で大切なこと

叙述文では出来事を時間軸にそって書くことが求められますから、出来事の順番が前後しないようにしなければなりません。また、読む人の興味を引くような内容にすることも大切です。

#### 形式を確認

叙述文に限らず、英語のパラグラフを書くときには形式に気を配る必要があります。以下のチェックポイントを毎回確認するようにしましょう。

- パラグラフの始めの字下げ(インデント)はできているか。パラグラフ内の文は改行せず連続して書かれているか。
- 大文字小文字や、コンマ・ピリオドなどのパンクチュエーション(句読法)は適切に使われているか。
- 内容を適切に表すタイトルがつけられているか。タイトルは中央に書かれているか。

#### 叙述文で使う表現

叙述文では、時間の前後関係を表す次のような表現を使って、出来事の流れがわかりやすくなるようにします。

first, second, after that, then, later, next  
when, while, before, after, as soon as

また、いつのことを述べているのかを示す動詞の形には十分注意しましょう。過去のことは過去形、過去のある時点よりも前のことはwe were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for usのように過去完了形を使います。

では、次のステップに従って、**TASK**で示されたトピックについて叙述文を書いていきましょう。

#### STEP 1 何について書くか考える

まず、どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

#### STEP 2 アウトライン(あらすじ)を書く

読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで、「導入」をつくります。ここではまだメモ程度でかまいません。

#### STEP 3 パラグラフを書く

アウトラインができれば文章にしていきます。書き終えたら読み直します。

#### STEP 4 リバイズ(修正)する

パラグラフを書き終えたら、ペアの相手かグループのほかのメンバーと話し合ったり、チェックリストを使ってお互いに気づいたことを伝え合い、書き直します。

#### ライティングチェックリスト

- 形式**: タイトル、インデント、パンクチュエーションなど形式は適切か
- 構成**: 時間軸にそって出来事が書かれているか
- 内容**: 出来事の内容が伝わるように書かれているか
- 文法**: 時制(動詞の形)は適切か
- 表現**: 時間の前後関係を示す表現が適切に使われているか

### TASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

まとまった文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい、ステップを踏んでTASKに取り組めるワークシートを指導用データDVD-ROMに収録。» p.25

#### Logical Writing ワークシート

##### TASK2

思い出に残っている高校入学後の出来事について、1分間でスピーチをしよう。

##### 1. 出来事に関して、メモにまとめよう。

When?	
Where?	
With whom?	
What did you do?	
How did you feel?	
Why is it important?	

##### 2. 110語~140語の原稿を書きましょう。

( )

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Speech



スピーチをしてみよう!

スピーチとは

集まっている人の前で自分のことを話したり, あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく, 聞いている人の目を見ながら (アイコンタクト) 語りかけるようにすることが大切です。また, 声の大きさや話す速さ, メリハリにも気をつけて, 聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です (ただし, 不自然にならないように)。

**TASK1** 思い出に残っている高校入学前の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

スピーチ原稿を書く

1分間のスピーチでは, 110~140語の文章を読むことができます。したがって, この語数を参考に原稿をつくるようにしましょう。

スピーチを始めるときは, まず「あいさつ」と「自己紹介」をします。クラスでのスピーチならHi, everyone. I'm Hana.のような短いものでよいでしょう。次に, スピーチのテーマや目的をI'd like to talk about .... / I'm going to talk about ....のように伝えてから, スピーチの内容へと入っていきます。

ここで, モデルとなるスピーチ原稿を見てみましょう。Logical Writing ①のモデルパラグラフをスピーチ原稿にしたものです。

Hi, friends. I'm Hana. Today, I would like to talk about my first day in Seattle. When I was fourteen years old, I went to the United States. I wanted to improve my English, so I decided to join an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. When we arrived at the school after a long journey, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. After the party, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me. (139 words)

スピーチで大切なこと

スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Hanaのスピーチの場合は, my first day in Seattleだけで「シアトルに行ったんだ」「何をしに行ったんだろう」「どんなことがあったんだろう」と聞く人は思うでしょう。また, Have any of you been abroad?のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。シアトルという都市について話すのであれば, Seattle is the birthplace of the worldwide coffee chain.のような内容が考えられます。

Logical Writingとセットで取り組めるTASK

- Logical Writing で書いたパラグラフを, スピーチ原稿に改編。
- 「発表」の活動に集中できる構成。

スピーチをしてみよう!

では, Logical Writing ①で作成した叙述文をスピーチ用の原稿にして, 次の点に留意してグループ内で発表しましょう。

- 原稿を棒読みするのではなく, みんなのほうを見ながら話します。
- みんなにはっきりと聞こえるように, 声の大きさや話す速さにも気をつけます。
- 英語の発音や抑揚も意識して, 必要なところにはポーズを入れて聞きやすくします。
- その時の気持ちが伝わるような話し方をします (楽しかった場面は楽しそうに)。
- 最後はThank you. / Thank you for listening. でスピーチを終わらせます。
- 聞いている人は, スピーチが終わったら拍手をしましょう!

全員のスピーチが終わったら, **TASK2** に挑戦してみましょう。

**TASK2** 思い出に残っている高校入学後の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

STEP 1 何について話すか考える

まず, どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

STEP 2 アウトライン (あらすじ) を書く

読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで, 「導入」→「内容」→「感想」のアウトラインをつくります。

STEP 3 スピーチ原稿を書く

アウトラインができたらスピーチ用の原稿にします。最初の「つかみ」で聞く人の興味を引くことができるようにします。書き終わったら読み直して修正します。

STEP 4 発表する (スピーチ)

スピーチ原稿ができたら, ペアまたはグループになって発表し, 聞いた留意点に気をつけます。

スピーチへのフィードバック

スピーチが終わったら拍手をし, 次のチェックリストを使って気づきや感想を伝えましょう。また, 発表した内容に関して聞きたいことがあれば質問しましょう。

スピーチチェックリスト

- アイコンタクト・姿勢: みんなのほうを見て話していたか
- 声の大きさ・速さ・ポーズ: 聞きやすかったか
- 発音・抑揚: 棒読みになっていなかったか
- 構成: 「導入」→「内容」→「感想」の構成になっていたか
- 内容: 聞く人の興味を引くような内容でわかりやすかったか

話すTASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

話す活動が苦手な生徒も取り組みやすいように, アイデア出しのヒントを盛り込んだワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。 >>> p.25

Zone末活動用ワークシート

- スピーチで大切なこと
- スピーチでは最初の「」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Have any of you been abroad? のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。
1. 次のテーマで話すときに, どのような「つかみ」が考えられますか。それぞれ1~2文で書いてみましょう。
- ① 富士山に登ったことを話す場合
  - ② ギターを習い始めたことを話す場合